

産科医療及び分娩に関する調査結果を報告します！

横浜市の産科医療及び出産をめぐる状況を把握するため、平成30年度内に分娩を取り扱っていた病院、診療所及び助産所（55施設）を対象に調査を実施しましたので、その結果を報告します。

1 結果の概要

(1) 分娩取扱施設数

平成30年4月1日時点で、前年より2施設減少しましたが、平成31年4月1日時点では1施設増加しています。【表1・表3】

(2) 分娩件数

平成30年（30.1.1～30.12.31）は24,569件で、前年と比べて420件減少しています。【表1】

(3) 常勤の医療従事者

医師の数は減少しましたが、助産師、看護師の数は増加しています。【表2】

【表1】分娩件数

			<今回調査> 平成30年	<参考>		
				平成29年	平成28年	平成27年
市内計		施設数	54	56	53	53
		分娩件数	24,569	24,989	25,277	26,193
		1施設あたりの分娩件数	448.7	449.6	460.3	498.9
内 訳	病院	施設数	23	24	22	22
		分娩件数	16,943	17,169	18,101	18,882
		1施設あたりの分娩件数	736.7	722.9	801.6	858.3
	診療所	施設数	21	22	20	19
		分娩件数	7,276	7,415	6,739	6,756
		1施設あたりの分娩件数	334.5	343.6	331.5	365.2
	助産所	施設数	10	10	11	12
		分娩件数	350	405	437	555
		1施設あたりの分娩件数	35.0	39.5	36.4	46.3

- * 施設数は、各年4月1日現在。平成30年の診療所の分娩件数には平成30年4月2日以降に開院した1診療所を含む。
- * 分娩件数については、1月から12月までの件数とし、各年（1月から12月）中に開院した施設分の取扱数を含む。
- * 1施設あたりの分娩件数は、各年の月あたりの平均施設数で割った値であり、施設数（各年4月1日現在）で割った数値とは一致しない。
- * 病院・診療所の施設数・分娩件数については、平成28年、27年は未回答施設分を除く。

参考 出生数について

平成30年の市内出生数は、前年に対し720人減少しています。
また、出生数に対する市内分娩件数の割合は、前年に対し0.8ポイント増加しています。

出生数の推移

年	横浜市		全国	
	前年比		前年比	
平成27年	30,928人	148	1,005,677人	2,138
平成28年	29,749人	△1,179	976,978人	△28,699
平成29年	28,611人	△1,138	946,065人	△30,913
平成30年	27,891人	△720	918,397人	△27,668

※各年暦年（1月～12月）の数値

※出生数出典：横浜市は「横浜市 人口動態と年齢別人口」

全国は「人口動態調査（厚生労働省）」（平成30年は概数）

分娩件数の推移

年	分娩件数		出生数に対する割合	
	前年比		前年比	
平成27年	26,193件	26	84.7%	△0.3P
平成28年	25,277件	△916	85.0%	0.3P
平成29年	24,989件	△288	87.3%	2.3P
平成30年	24,569件	△420	88.1%	0.8P

※平成28年、27年は1施設未回答

【表2】医療従事者(常勤)の状況(各年4月1日の従事者数)

		<今回調査> 平成30年	<参考>			
			平成29年	平成28年	平成27年	
市内計	施設数	54	56	53	53	
	医師数	217	225	212	204	
	助産師数	670	668	644	635	
	看護師数	254	234	216	239	
内 訳	病 院	施設数	23	24	22	22
		医師数	184	188	179	170
		助産師数	542	542	539	523
		看護師数	194	179	172	180
	診 療 所	施設数	21	22	20	19
		医師数	33	37	33	34
		助産師数	108	104	82	87
		看護師数	60	55	44	59
	助 産 所	施設数	10	10	11	12
		助産師数	20	22	23	25

* 平成28年、27年の診療所については、未回答施設（1施設）分を除く。

【表3】分娩取扱施設数（各年4月1日）

		平成31年	平成30年
市内計		55	54
内 訳	病 院	23	23
	診 療 所	22	21
	助 産 所	10	10

※平成30年4月2日以降、新たに1診療所が分娩の取扱いを開始しています。

2 本市の取組

新たに分娩の取扱いを開始する施設がある一方で、分娩の取扱いをやめる施設がある状況です。また医療従事者の確保は個々の医療機関が取り組むだけでは限界があります。そのためこれまで、施設不足、人材不足に陥ることのないよう、医療機関に対する支援等を実施してきました。分娩数は減少傾向ですが、本市の取組は継続し、引き続き安心して出産できる環境の確保に努めます。

調査の概要

調査名：「産科医療及び分娩に関する調査」
 調査の実施：令和元年5月
 調査目的：横浜市の産科医療及び出産をめぐる状況を把握するため
 調査対象：平成30年度内に分娩を取り扱っていた病院、診療所及び助産所（全55施設）
 調査方法：病院・診療所については、郵送で送付した調査票をe-mail等により回収
 助産所については、県から公益社団法人神奈川県助産師会に依頼、回収
 実施主体：横浜市及び神奈川県

参考：本市が取り組んでいる主な産科医療対策

○ 産科拠点病院の指定

全国的に不足している産婦人科医師を確保するため、横浜市立大学の協力を得て、10人以上の産婦人科医師を配置し、医師ひとりあたりの負担軽減を図る「産科拠点病院」を平成26年4月1日から3か所指定しています。

産科拠点病院は、多様な症例を経験できるなど、若い医師にとって魅力ある勤務環境により、将来にわたり安定的な医師確保を目指しています。

(産科拠点病院：横浜労災病院、横浜市立市民病院、済生会横浜市南部病院)

○ 医師等の人材確保対策

子育て等に配慮した働きやすい職場環境を整備するため、当直医師の確保を行う医療機関に対する支援等を行います。

○ 分娩取扱施設への機器更新支援

市内で分娩を取り扱っている医療機関に対し、医療機器等の更新に要する経費の一部を補助することにより、分娩取扱施設数を安定的に維持するとともに、市内の産科医療環境の確保を図ります。

平成30年度は、2病院、2診療所、1助産所に対し、補助を行いました。

○ 産科あんしん事業

出産施設を探している市民の方に向け、市内の出産取扱施設の出産予約状況をホームページ上で公開しています(平成22年10月～)。

URL：<http://cgi.city.yokohama.lg.jp/iryo/sanka/>

お問合せ先		
医療局がん・疾病対策課長	古賀 美弥子	Tel 045-671-2957

※ 本件は、神奈川県と同時発表です。

※ 詳細は別添資料をご覧ください。

「産科医療及び分娩に関する調査」結果

令和元年7月31日
医療局 がん・疾病対策課

1 調査概要

調査名：「産科医療及び分娩に関する調査」

調査の実施時期：令和元年5月

調査目的：横浜市の産科医療及び出産をめぐる状況を把握するため

調査対象：平成30年度内に分娩を取り扱っていた病院、診療所及び助産所

調査方法：病院・診療所については、郵送で送付した調査票をe-mail等により回収

助産所については、神奈川県から公益社団法人神奈川県助産師会に依頼、回収

実施主体：横浜市及び神奈川県

市内の病院、診療所、助産所のうち、平成30年度内に分娩を取り扱っていた23病院、22診療所、及び10助産所に調査を依頼しました。

調査票の回収率

	病院	診療所	助産所	計
送付数	23	22	10	55
回収数	23	22	10	55
回収率(%)	100.0	100.0	100.0	

2 調査結果

2-1 平成30年4月1日に分娩を取り扱っていた医療機関の分娩取扱状況

	病院		診療所		助産所		計	
	施設数	%	施設数	%	施設数	%	施設数	%
回答数	23		21		10		54	
分娩を取り扱っている	23	100.0	21	100.0	10	100.0	54	100.0
分娩を取り扱っていない	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0

2-2 分娩取扱施設の状況

(1) 出産の実績

	病院	診療所	助産所	計
分娩取扱施設数	23	21	10	54
産科病床数	825	276	—	1,101
分娩件数 (1/1から12/31の数)	16,943	7,276	350	24,569

*分娩取扱施設数及び産科病床数は平成30年4月1日現在。

*診療所の分娩件数には平成30年4月2日以降に開院した1診療所を含む。

(2) 従事者の状況

		病院	診療所	助産所	計	
有効回答数		23	21	10	54	
医師	常勤	184	33	—	217	
		男	85	29	—	114
		女	99	4	—	103
	非常勤(実人数)	130	74	—	204	
		男	89	47	—	136
		女	41	27	—	68
助産師	常勤	542	108	20	670	
	非常勤(実人数)	73	121	35	229	
看護師	常勤	194	60	—	254	
	非常勤(実人数)	21	77	—	98	
当直医師		26	19.3	—	45.3	
オンコール		23.2	15.5	—	38.7	

*従事者については、平成30年4月1日現在の人数を計上。

*オンコールとは、自宅等に待機する医師を緊急時に呼び出す体制のこと。

次頁あり

2-3 医師の勤務環境改善の取組(複数回答)

	病院		診療所	
	施設数	%	施設数	%
有効回答数	23		21	
医師事務作業補助者の配置	17	73.9	4	19.0
当直の免除	12	52.2	6	28.6
当直明け勤務の免除	10	43.5	1	4.8
オンコールの免除	7	30.4	2	9.5
休暇取得への配慮	17	73.9	10	47.6
短時間勤務(育児・介護等により勤務時間を短縮・ワークシェアリング等)	15	65.2	6	28.6
変則勤務制(フレックスタイム制)	7	30.4	0	0.0
交代勤務制(看護師のような2・3交代制、日直・宿直制)	6	26.1	2	9.5
院内保育所の設置	17	73.9	3	14.3
院内学童保育所の設置	0	0.0	0	0.0
その他	2	8.7	1	4.8

2-4 セミオープンシステムの実施状況

	病院	
	施設数	%
有効回答数	23	
実施している	16	69.6
実施していない	7	30.4
検討中	0	0.0

2-5 分娩手当等支給制度

	病院		診療所		助産所		
	施設数	%	施設数	%	施設数	%	
有効回答数	23		21		10		
ある	医師	16	69.6	8	38.1	0	0.0
	助産師	5	21.7	7	33.3	8	80.0
ない	5	21.7	7	33.3	1	10.0	
設置予定	0	0.0	1	4.8	0	0.0	
検討中	0	0.0	3	14.3	1	10.0	

次頁あり

<参考>

3-1 平成31年4月1日現在の分娩取扱状況

	病院		診療所		助産所		計	
	施設数	%	施設数	%	施設数	%	施設数	%
回答施設数	23		22		10		55	
分娩を取り扱っている	23	100.0	22	100.0	10	100.0	55	100.0
分娩を取り扱っていない	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0

3-2 分娩取扱施設の状況

(1) 出産の実績及び見込み

	病院		診療所		助産所		計	
	31年	30年	31年	30年	31年	30年	31年	30年
分娩取扱施設数	23	23	22	21	10	10	55	54
産科病床数	804	825	284	276	-	-	1,088	1,101
分娩件数 (1/1から12/31の数)	(16,489)	16,943	(7,491)	7,276	(346)	350	(24,326)	24,569

* 分娩取扱施設数及び産科病床数は各年4月1日現在。

* 分娩件数は、31年はH31.1.1～R1.12.31の見込数、30年はH30.1.1～H30.12.31の実績数。

* 30年の診療所の分娩件数には平成30年4月2日以降に開院した1診療所を含む。

(2) 従事者の状況

	病院		診療所		助産所		計			
	31年	30年	31年	30年	31年	30年	31年	30年		
有効回答数	23	23	22	21	10	10	55	54		
医師	常勤		190	184	34	33	-	-	224	217
		男	88	85	28	29	-	-	116	114
	女	102	99	6	4	-	-	108	103	
	非常勤(実人数)		101	130	68	74	-	-	169	204
		男	69	89	46	47	-	-	115	136
女	32	41	22	27	-	-	54	68		
助産師	常勤	565	542	116	108	21	20	702	670	
	非常勤(実人数)	72	73	129	121	36	35	237	229	
看護師	常勤	205	194	60	60	-	-	265	254	
	非常勤(実人数)	10	21	67	77	-	-	77	98	
当直医師	26.1	26	17.3	19.3	-	-	43.4	45.3		
オンコール	23.2	23.2	14.5	15.5	-	-	37.7	38.7		

*有効回答数は、各年4月1日に分娩を取り扱っている施設数。

*従事者については、各年4月1日現在の人数を計上。

*オンコールとは、自宅等に待機する医師を緊急時に呼び出す体制のこと。

※平成30年4月2日以降、新たに1診療所が分娩の取扱を開始しています。